

# CASBEE® 京都-新築

# 標準システム 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-京都-新築(新編)2018年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-京都-新築2018 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ユニバーサルコミュニケーション研究所 計算機棟	階数	地上3F
建設地	京都府相楽郡精華町光台3丁目5番地	構造	S造
用途地域	準工業地域, 防火地域	平均居住人員	15 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2021年12月1日
敷地面積	26,616㎡ m <sup>2</sup>	作成者	株式会社日本設計
建築面積	1,670.82 m <sup>2</sup>	確認日	2021年12月1日
延床面積	3,590.78 m <sup>2</sup>	確認者	-



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 2.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

### 3 設計上の配慮事項

<p><b>総合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里山景観が形成するスカイラインに配慮し、ボリューム分節による威圧感の軽減を行った。</li> <li>計算機らしさを表現した意匠としながら、機能性、施工性、メンテナンス性など、様々な機能が合理的に解決されたデザイン。</li> </ul>	<p><b>その他</b></p>
<p><b>Q1 室内環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>明快なエネルギー供給ルートの設定と整合したシンプルな平面計画。</li> </ul>	<p><b>Q2 サービス性能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>将来的なIT機器のバージョンアップを見据え、維持管理の容易化と省エネルギーをバランスよく実現。</li> <li>将来拡張、更新を見込み、ゆとりのある設備スペース、搬入ルートの確保。</li> </ul>
<p><b>LR1 エネルギー</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電パネルの採用</li> </ul>	<p><b>LR2 資源・マテリアル</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>節水型器具の採用</li> </ul>
	<p><b>LR3 敷地外環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既存棟よりも建物ボリュームを抑え、隣棟間隔を十分に設け、温熱環境に配慮した。</li> </ul>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される